

天野山金剛寺、熊野へと続く古道。 今ものどかな自然がいっぱい。

天野街道は、天野山金剛寺への参詣道で、古くは熊野詣に向かう道としても利用されていました。河内と和泉の国境にあたる陶器山丘陵の尾根に沿って、周辺には豊かな緑と田園が広がり、どこかなつかしい風景に心なごみます。今熊から大野西までの区間は遊歩道「あまの街道」として整備されており、散歩やジョギング、ハイキングにも人気のコース。建設省(現国土交通省)の「手づくり郷土賞」、「大阪の道99選」にも選ばれています。



天野街道と 西高野街道分岐の道標

天野街道の起点には「右あまの山二里 左かうや山十里」と刻まれた古い道標が立っています。天野街道はここから陶器山の尾根筋を南下し、天野山金剛寺へと続きます。一方、西高野街道は大阪狭山市の中心部を通り、一般の生活道路として活用されています。



見どころ PickUp

● 狭山池・大阪府立狭山池博物館／大阪狭山市立郷土資料館

7世紀前半に築造され、「古事記」や「日本書紀」にも登場する日本最古のダム式ため池。長い歴史の中で幾度も改修を重ね、各時代の最先端の土木技術が生かされてきました。狭山池博物館では、そうした開発の歴史を紹介。堤体断面の実物をはじめ、平成の改修で出土した文化財を中心に展示しています。また、平成21年6月から大阪狭山市立郷土資料館を館内に設置し、府と市の共同運営施設としてリニューアルされ、地域の歴史を感じることができる展示もご覧になれます。周辺には広場や緑地、遊歩道などが整備され、水と緑の憩いの場として多くの人たちに親しまれています。

●入館無料 ●開館時間: 10時～17時(入館は16時30分まで) ●休館: 月曜(祝休日の場合は翌日)、年末年始 Tel.072(367)8891



● 狭山神社

平安時代の「延喜式神名帳」に記載された格式高い神社。創建は狭山池の築造以前とか。南北朝の動乱で焼失し、室町時代に再建されました。豊かな緑は、「大阪みどりの百選」に選ばれています。



● 天野山金剛寺

奈良時代に行基が開創した古刹。弘法大師の修行地と伝えられ、女人高野としても知られています。堂々とした楼門、多宝塔などの建物や寺宝には国宝・重要文化財が多数。室町時代に造られた枯山水の庭園は見事な美しさ。境内は四季折々に趣があり、特に中秋の名月がすばらしいことで有名です。

●入山拝観料: 大人200円・小人100円 ●宝物庫・庭園・奥殿の拝観は大人400円 ●拝観時間: 9時～16時30分 Tel.0721(52)2046



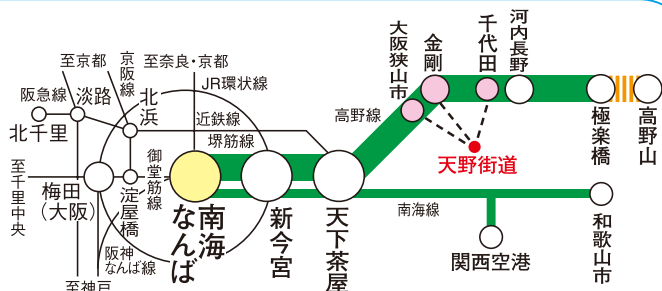
太閤秀吉も愛飲した『天野酒』

南河内の銘酒として知られる天野酒。その始まりは天野山金剛寺で造られていた僧房酒で、戦国時代には武将たちが愛飲。とりわけ秀吉は、良酒醸造に専念せよと命じるほどのお気に入りだったとか。



お願い・ご注意

- 所要時間には昼食や休憩時間は含みません。また標準的な歩行速度による目安ですので、各自のペース配分をお守りください。
- ゴミや空き缶はご自分で持ち帰りください。
- タバコなどの火の後始末は十分ご注意ください。
- 自然はみんなの財産です。草花を摘んだり、樹木を傷つける行為は慎んでください。
- 体調や天候に注意して、ハイキングに適した動きやすい服装でお出かけください。雨具や薬などの用意もお忘れなく。
- 交通機関の時刻は、事前にご確認ください。
- 自然災害等により、コースが通行できない場合も生じますのでご注意ください。
- このパンフレットは2009年6月の取材に基づいて作成しています。



●お問い合わせ 南海テレホンセンター
☎06(6643)1005
●南海電鉄ホームページ <http://www.nankai.co.jp/>